

司祭のてがみ

2003.05.11 No.11

行橋カトリック教会・豊津巡回教会 主任司祭：ミカエル山元眞
〒824-0006行橋市門樋町 8-5
TEL. 0930 (22) 0805 / FAX. 0930 (22) 0816
E-mail : makotochan@aries.bekkoame.ne.jp
http://homepage.mac.com/makotochan1

★今回はとくに大切な内容です。最後まで読んでください★

18日は「^{かぞくかいぎ}家族会議」です。みなさん、^{あつ}集まりましょう。

^{そうかい}「総会」といえば、^{かつどうほうこく}活動報告や^{かいけいほうこく}会計報告。
^{しんとそうかい}「信徒総会」も同じでした。^{おな}全員^{ぜんいんしゅうごう}集合！と
いっても、^{あつ}集まらないのが当然でしょう。
^{きょうかい}教会は^{かいしゃそしき}会社組織でも、^{がっこう}学校でもありませ
ん。^{きょうかい}教会は^{かみ}神さまによって^{あつ}集められた^{ひと}人び
との^{あつ}集まりで、^{しゃかい}社会にある^た他のどんな^{ちが}グル
ープとも違います。わかりやすくいえ
ば、わたしたちはひとつの^{おお}「大きな^{かぞく}家族」に
^{ぞく}属しているわけです。そして、その^{とう}「お父
さん」は^{しゅにんしさい}主任司祭でも、^{しんとかいちょう}信徒会長でもなく、
^{てん}天の^{ちち}父である^{かみ}神さまです。^{みこ}神さまが^{おく}御子イ
エスさまをわたしたちに送ってくださり、
^{かみ}神の^{かぞく}家族をこの^{せかい}世界に^{つく}作ってくださいま
した。^{きょうかい}教会は、イエスさまを中心とした^{ちゅうしん}ひとつ
の^{おお}大きな^{かぞく}家族です。ですから、「^{しんと}信徒
^{そうかい}総会」は、いわば「^{かぞくかいぎ}家族会議」といっても
いいでしょう。家族が^{あつ}集まり、家族の^{おも}いろ
んな^{もんだい}問題について話し合い、それぞれの^{おも}思
い^{こうかん}を交換して、家族の^{かぞく}絆を^{ふか}深めます。

18日は、そのために^{あつ}集まりましょう。
できるだけ、9時ミサに参加し、^{いえ}神の家で
ある^{せいどう}聖堂で^{かぞくかいぎ}「家族会議」をしましょう。

^{みな}皆さん、そのために、ぜひ^{じかん}時間を作って
ください。行橋教会にとって、とても^{たいせつ}大切
な^{はな}話しがあります。子どもも^{わかもの}若者も、大人
も、^{こうれいしゃ}高齢者の方も、^{あつ}みんな集まりましょう。
^ひ日ごろ、なかなか^{きょうかい}教会に^こ来れない方も、こ

^{あつ}の日は^{あつ}集まりましょう。

教会では、40年前に^{ねんまえ}全世界の2500人
^{しきょう}あまりの^{いちどう}司教が一同に^{あつ}集まり、3年にわ
たってイタリアのローマ・バチカンで
^{かいぎ}会議が開かれました。それまで、^{そしき}組織
^{ちゅうしん}中心で、一部の^{いちぶ}人たちのものであった
^{きょうかい}教会を見直す必要があったからです。そ
の結果、^{けっか}さまざまな^{いけん}意見の^{たいいつ}対立を^の乗り越
え、^{すがた}教会の姿が^う浮き彫りに^ぼされました。
それは、^{そしき}組織ではなく、^{ちゅうしん}人を中心とした
「^{かみ}神の^{たみ}民」としての^{きょうかい}教会でした。

^{かぞく}家族は、さまざまな^{もんたい}問題をかかえていま
す。^{よろこび}喜び、^{たのし}楽しみ、^{かな}悲しみ、^{なや}悩みでいっぱ
いです。子どものこと。^{ふうふ}夫婦のこと。
^{かぞく}家族のこと。^{けんこう}健康のこと。^{ろうご}老後のこと。
^{けいざい}経済のこと。^{きょういく}教育のこと。^{しんこう}信仰のこと。
いろいろな^{にんげんかんけい}人間関係のこと。^{わかもの}若者のこ
と。^{どうとく}モラル（^{りんり}道徳・倫理）のこと。^{しごと}仕事
のこと...。教会も同じです。

^{ちゅうしん}神さまを中心にした^{かぞく}家族。この家族が
わたしたちだけでなく、すべての^{しんと}人にと
って^{すく}救いの^ば場となりますように。信徒
の^{みな}皆さん、そのために^{ちえ}知恵と^{ほうし}奉仕の^{こころ}心を
^{たが}互いに^{ていきょう}提供し合ひましょう。この度、^{たび}
^{きょうかい}教会役員の方が^{かた}代わります。そのこと
も、^{みな}たくさんの^{しょうにん}皆さんから承認していた
だきたいのです。

「子どもとともにささげるミサ」 に理解と協力をお願いします！

昨年（さくねん）から「子どもとともにささげるミサ」が第3日曜日（豊津教会では、その前晩（ぜんばん））に行われています。この3月に日本司教団（しきょうだん）から新しい「子どもとともにささげるミサ」の儀式書（ぎしきしょ）も発行（はっこう）されました。そのミサについて、信徒（しんと）の皆さんの理解（りかい）と協力（きょうりょく）をお願いします。

典礼（てんれい）（たとえばミサ）はもともと会衆（かいしゅう）の積極的（せききよくてき）、行動的（こうどうてき）参加（さんか）によって行われるべきものです。子どももそのような権利（けんり）と義務（ぎむ）をもっています。どのようにすれば子どもが抵抗感（ていこうかん）なしに、しかも喜び（よろこ）をもって、典礼（てんれい）（キリストとの生きた体験（たいけん）の時（とき）と場（ば））に参加（さんか）できるかを工夫（くふう）し、工夫（くふう）の可能性（かのうせい）の道（みち）を開いてつくられたのがこのミサです。とはいっても、子どものために、まったく新しい別の型（かた）のミサをつくったわけではありません。子どもが、やがて成長（せいちょう）した後（あと）でも、標準型（ひょうじゅんがた）のミサに

素直（すなお）に移行（いこう）できるように育て（そだ）てていくことが、とくに親（おや）として、また信仰共同体（しんこうきょうどうたい）の責任（せきにん）であり、それを前提（ぜんてい）としてつくられています。ですから。「おとなが『子どもとともにささげるミサ』」なのであって、「子どものミサ」ではないことを心得（こころえ）しておく必要があります。

～だれが、「ともにささげる」のでしょうか？ もちろん（もちろん）（司祭（しさい）も含めて（ふく））子ども以外（いがい）のおとなたち、みんなです。

おとなが子どもを「半人前（はんじんまえ）（信者（しんじゃ））」あつかいするのではなく、むしろすすんで子どもたちもまた、かけがえのない教会（きょうかい）のメンバーとして認め（みと）め、受け入れ（うけいれ）、励まし（はげ）し、さらには自分（じぶん）たちの教会（きょうかい）の未来（みらい）を託（たく）していることをあらわす場（ば）、それが「子どもとともにささげるミサ」なのではないでしょうか。『幼子（おきなご）を抱（だ）き祝福（しゅくふく）された』（マルコ10・16）キリストにならう教会（きょうかい）は、子どもたち（こどもたち）を、そのまま放置（ほうち）しておくことはできないのです。

今後のミサ予定（主日・祝祭日）

5月 11日（日）《復活節第4主日》7時【豊津】9時【行橋】召命祈願日・母の日

17日（土）《復活節第5主日前晩》19時30分【豊津】子どもとともにささげるミサ

18日（日）《復活節第5主日》7時【ナシ】9時【行橋】子どもとともにささげるミサ

9時のミサ後に信徒総会があります

24日（土）《復活節第6主日・世界広報の日前晩》19時30分【行橋】

25日（日）《復活節第6主日・世界広報の日》7時【豊津】【カ幼】家族ふれあいの日

9時のミサはありません

31日（土）《主の昇天前晩》19時30分【行橋】

6月 1日（日）《主の昇天》7時【行橋】9時【豊津】

7日（土）《聖霊降臨祭前晩》19時30分【行橋】

8日（日）《聖霊降臨祭》7時【行橋】9時【豊津】